

授業改善推進プラン 国語〔小学校第4～6学年〕

昭島市立光華小学校

| 学年等 | 項目 | 内容 |
|---------------|----------------------------|---|
| 令和5年度 第4学年 | 学習に関する児童の実態・課題 | ○課題に真面目に意欲的に取り組む。 ▲漢字や言葉の言語の学習意欲はあるが身に付いていない。 |
| | 教科で身に付けさせたい資質・能力 | ・場面や段落相互の関係に着目して文章の構成に気付き、内容を理解する力 ・基礎的な言語力 |
| | 具体的な授業改善の方策 | ・ブレ教材を用いて関係に着目した読み方(問い、答え、意見、事例、起承転結など)を確かめ、それを用いて単元学習を進めるようにする。 ・授業の中でも並行読書を進め、読みの力を活かす機会を増やす。 ・読む学習や書く学習の中でも既習の漢字や言葉を押さえ活用させる。 |
| | 第4学年における児童の達成度と第5学年に向けての課題 | ○漢字や言語事項については、授業で習熟の時間をとることで多少改善された。 ○既習事項の確認をしたことで、前時とのつながりや、基本的な文章構成の理解や段落相互の関係を考えることができるようになり、読みの力が高まってきた。 ○単元の中の並行読書で、教材文で学習した読みを活かすことができた。 ▲段落相互の関係をとらえて内容を読み取る力がついてきたので、読み取った内容を要約などの表現にも活かしていけるようにしていきたい。 |
| 令和6年度 第5学年 | 学習に関する児童の実態・課題 | ○言語の学習のような答えが明確になっている場面では、意欲的に取り組む。 ▲語彙が乏しく、言葉の理解や語句の選択が苦手なため、言葉の知識・理解が不足している。 ▲自分の考えを求められる問題に対して文章にして書くことに苦手意識をもつ児童が多い。 |
| | 教科で身に付けさせたい資質・能力 | ・目的に応じて自分の考えが伝わるように書き表したり話したりする力 ・既習漢字を使って文を書く力 ・豊かな語彙力 |
| | 具体的な授業改善の方策 | ・定期的に漢字の小テストを行い、取り組みや結果の振り返りを継続する中で、個人内評価や意欲を高められるようにする。 ・読書から語彙を増やしていきけるように図書の時間や読書の時間を積極的に設ける。 ・自分の思いを伝えたい場面の時に、考えを書くことができるように単元指導計画を立てる。 |
| | 第5学年における児童の達成度と第6学年に向けての課題 | |
| 令和7年度 第6学年 | 学習に関する児童の実態・課題 | ○児童の言語活動において、「書くこと」や「読むこと」よりも、「話すこと」や「聞くこと」の方が比較的得意であり、話の内容を大まかに捉える力は備わっている。 ▲目的や意図に応じて、自分の考えを文章で表現したり、話し言葉として適切に伝えたりすることには苦手意識がある。 ▲既習の漢字を文章の中で正しく使うことができない児童もあり、語彙力や文法の定着に課題 |
| | 教科で身に付けさせたい資質・能力 | ・目的に応じて構成を考える力 ・既習漢字を正しく使う力 |
| | 具体的な授業改善の方策 | ・誰に伝えるのか、何を伝えたいのかを明確にすることで、文章や話し方に説得力がうまれる。 ・書く単元以外にも、授業の振り返りで自分の考えや思いを書く機会を増やす。 ・漢字や語彙、文法など、既習事項を自然に使えるような課題設定をする。 |
| | 小学校6年間のまとめと中学校への引継事項 | |